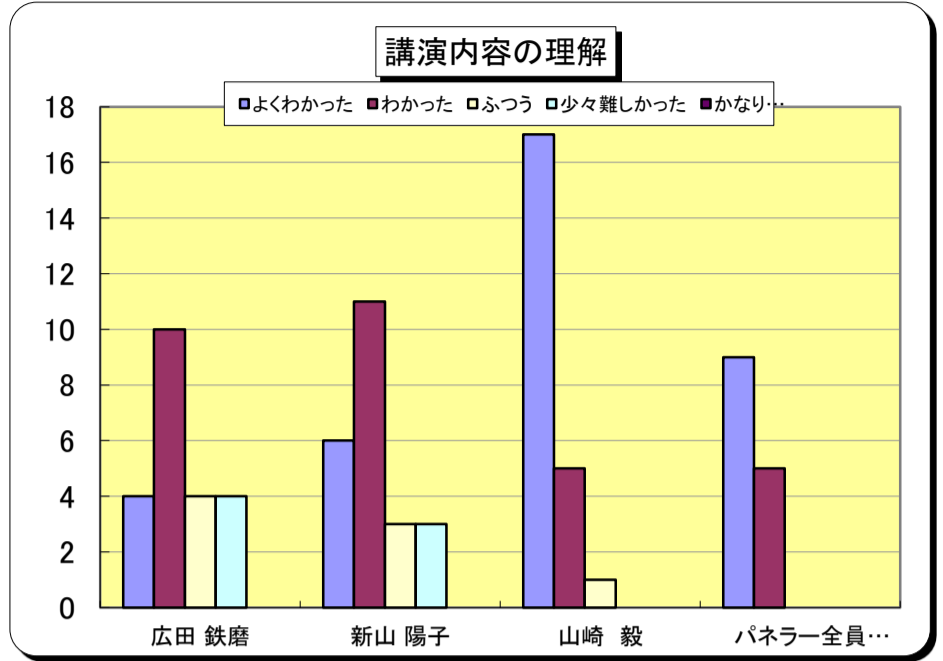
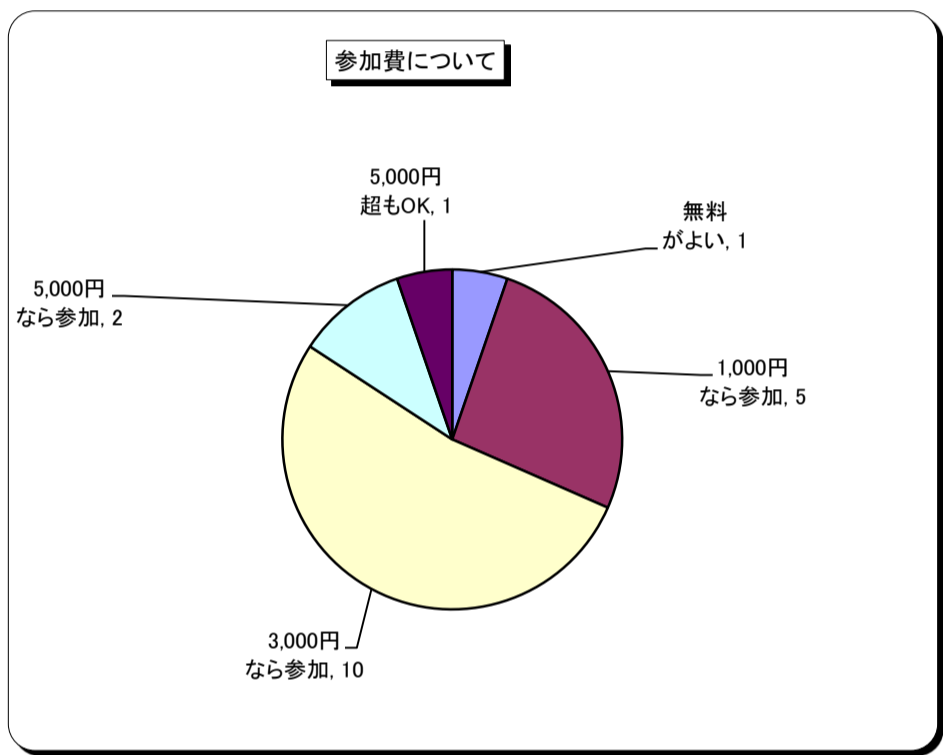


アンケート回収数23枚(参加者:45名、演者4名を除いた回収率:56%)

No.	テーマ	講師	よくわかった	わかった	ふつう	少々難しかった	かなり難解
1	食品防御 対策篇	広田 鉄磨	4	10	4	4	0
2	食品由来ハザードのリスク認知の特質と双方向リスクコミュニケーションモデルー放射性物質の健康影響を例にー	新山 陽子	6	11	3	3	0
3	不安な消費者にむけての“やさしい”リスコミのコツ	山崎 毅	17	5	1	0	0
4	パネル・ディスカッション: 『消費者の食の安心につながるリスコミを議論する』	パネラー全員 進行:山崎	9	5	0	0	0

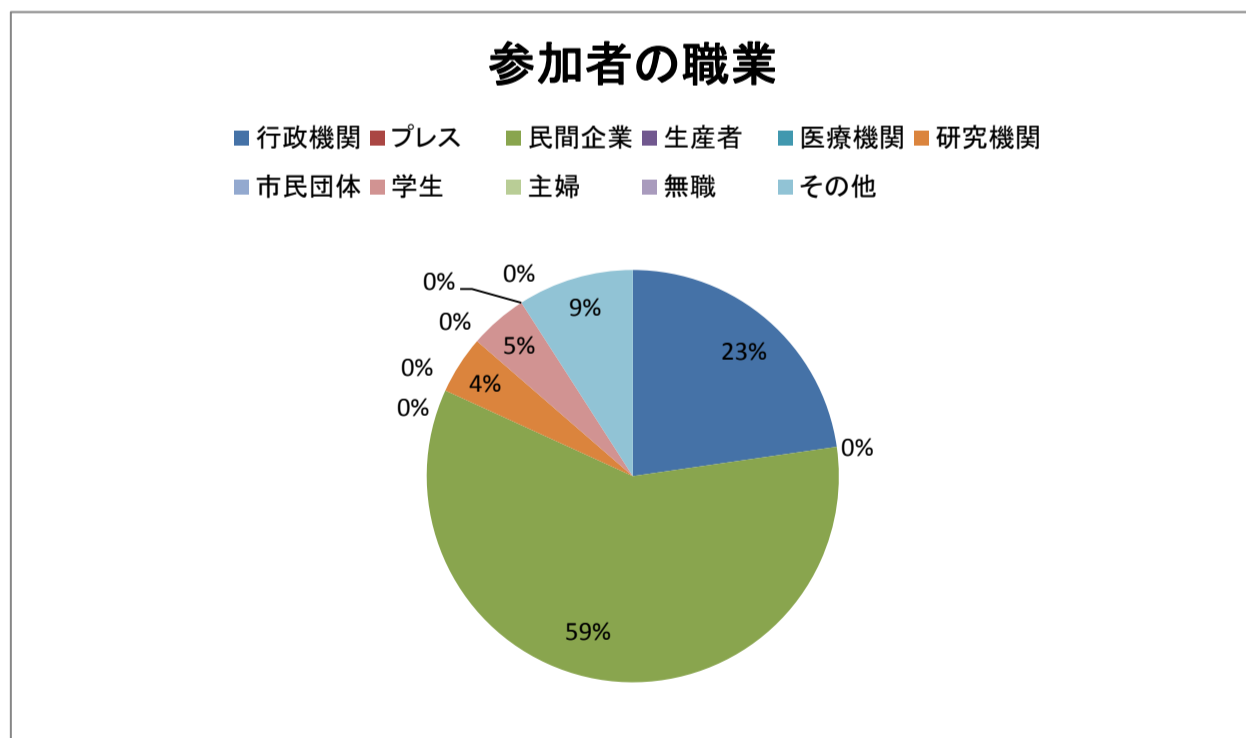


	無料がよい	1,000円 なら参加	3,000円 なら参加	5,000円 なら参加	5,000円 超もOK
今回のフォーラムの参加費(NPOへの賛助)についてどう思われますか?	1	5	10	2	1
今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。	(別紙)				
今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか?	(別紙)				
消費者の食の安心につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか。	(別紙)				
当NPOから季刊誌を発行しておりますが、無料購読を希望される方はあて先(郵便番号・住所・氏名・所属機関等)をご記入ください。	(別紙)				
当NPOからメルマガ(ご案内メール)を不定期に発行しております。無料購読を希望の方はメールアドレスをご記入ください。	(別紙)				



職業

行政機関	5
プレス	0
民間企業	13
生産者	0
医療機関	0
研究機関	1
市民団体	0
学生	1
主婦	0
無職	0
その他	2



1	食品防御 対策篇	広田 鉄磨
1	大変わかりやすく納得できるお話でした。食品防御の最も有効な手段は、従業員の満足度向上、作業環境の向上であり、カメラの設置は従業員に疑いがかからない安心して作業してもらえらるための手段と考えます。	
2	想像力が欠如していて、ピンときませんでした。	
4	ハードよりヒューマンウェアという事が、なんとなく判りました。	
5	パワーポイントを多く利用され、わかりやすかったのですが、英文は読めませんでした。昨年の講演のおさらいから話をされたので、まとめがわかりやすかったです。	
13	事例がほぼ無いテーマで、他の食中毒などと違って「起きたら・・・」のイメージがない中でわかりやすい説明でした。カメラ主導では、いきづまるということですね。	
14	大変良かった。次回に期待します。	
15	結局フードディフェンスの最大防御は人のコミュニケーションか、その所の強調がほしかった。	
16	FDAのフードディフェンスについて知らず、そのあたりはよくわかりませんでした。企業により考え方に差があるのは興味深いと思いました。	
20	なんでも機械にかえられようとしている現代で、ヒューマンウェアをきちんと取り入れるべきというお話が新鮮でした。	
21	ソフト・ハードの2極化ではなく、どちらが先かという事かと思いました。	
23	企業の実例を紹介されているのは、現実の展開を理解するのに役立ちました。	

2	食品由来ハザードのリスク認知の特質と双方向リスクコミュニケーションモデルー放射性物質の健康影響を例にー	新山 陽子
1	リスクコミュニケーションの難しさを改めて認識しました。何となくは感じていましたが、直感的に一度認識した考えは固定化し、容易には変わらないものですね。	
2	双方向のリスコミ理想としましたが、事故直後の混乱の中、放射線の理科教育ゼロでは、やはり難しかったのではと思いました。	
4	大変興味深い活動とその解析だと思いました。が、やや消化不足でした。(又お話を聴きたい)	
5	専門家による情報提供は、市民がいま一番必要と感じている事以外は不要、むしろ誤解を生じるおそれがあるのですね。個人の過去に体験したイメージが、おぼろげな知識に影響をあたえるのには、驚きました。	
13	伝わり方・認識のされ方が、どのような意識を”そもそも持っているか？”が良く分かりました。	
14	大変良い講演でした。	
15	もう少しスライドを見てやさしいものにしてほしかった。	
16	フランスの調査結果も聞けるとよかったです。人間はある程度、感情・直感で動いているものであり、それらも含めてリスコミで変えられるものではないと思います。	
20	調査と分析に基づいた、とても勉強になるお話でした。知識量ギャップがある中での双方向コミュニケーションモデル、今後どうなるのか気になります。	
21	人が不安に思うメカニズムをもっていて、わかってもダメなものはダメ、これの解決に向けた研究に期待したい。だから安心・安全といわれると思いました。(安全でも安心できない)	
23	客観的・学術的視点の立ち位置を示されていて、大変勉強になる内容でした。	

3	不安な消費者にむけての “やさしい”リスコミのコツ	山崎 毅
2	とてもわかりやすく、かつ過去の情報発信のしかたが良くなかったことが、よくわかりました。	
3	ありがとうございました。	
4	スッキリしました。ありがとうございます。	
5	安全アピールが反対に消費者の不安をあおっているのですね。まずは何が不安要因かを相手の立場になり考え、それから理解を求めるのには、かなりの根気が必要と感じました。	
10	身近な問題に重ねて説明いただけたことが、とてもわかりやすく、理解につながった。	
11	顧客対応をしているので、とても参考になりました。	
13	用語が難解(私の理解不足)のところがありますが、説明を行う企業側がどんな方法(ポイント)が必要か分かりました。	
14	大変良い講演でした。	
15	安全・安心の定義が良くわかった。スライドも興味深いものにされていた。	
16	参考になりました。	
20	具体的な対応や事例を交えての「リスコミのコツ」わかりやすかったです。あまりにもコミュニケーションが皆上手になりすぎると、うさんくささを含んでしまうのではないかと疑問です。	
23	ハキハキした口調でわかりやすかったです。	

4	パネル・ディスカッション: 『消費者の食の安心につながるリスコミを議論する』	パネラー全員 進行: 山崎
4	パネラーの先生が率直な発言ができる良い雰囲気でした。	
5	講演から発展した質問にわかりやすくお答え下さり、ありがとうございます。	
7	質疑で出された説明の中には大変参考になるものがあった。広田先生のパブコメ関連、新山先生の欧州ヒアリングの報告	
14	司会・講演者・質問の整理と理事長は大変だったと思います。	
16	参考になりました。	

5	今回のフォーラムについて、率直に思われたことを何でもお教えてください。
2	安全と安心は、やはり別物なんですね。冷静に判断できれば良いのですが、やはりイヤなものはイヤなところもありますし・・・
4	(制約上仕方がないと思いますが)配布資料にない情報量の多い(興味深い)スライドは、ややストレスになりました。
5	中途半端な情報と知識が、マスコミなどの情報によって不安になっているように感じます。添加物は安全性や必要性により、過去の混入事件や未知の物質(カタカナ表記の化学物質)による不安が起因しているのですね。
6	何回か聞いていますが、行政の方々への対応に不満がある先生方が多いように思います。農水厚労などの方々にも本フォーラムを聞いていただければいいなと思いました。
7	限られた時間内では3名の講師は適当ですが、終わりの時間が遅すぎないか？
8	内容は良かったですが、先生達の声が聞こえないです。司会から声をマイクにのせるように指摘すべきでは？と思いました。また広田先生の質問で、自己主張なされた会場の方も、途中でとめてほしかったです。
9	リスコミのあり方について、改めて考えさせられる内容だった。
10	幅広く盛りだくさんでした。レベルが高くて少しついていけない部分もありましたが、とても勉強になりました。
13	自治体・企業のCSR推進の動きから「有事の際の説明」が増えていくこと。
14	順番は諸事情あると思いますが、聞き手としては、山崎先生⇒広田先生⇒新山先生が分かりやすかったかと思います。
15	全体的にバランス良くまとめられていたと感じます。
16	それぞれ勉強になる内容が含まれており、ありがたく聞いています。
19	分かりやすかったです。
20	全回、とても勉強になりました。ありがとうございました。
21	様々な意見をお聞きし、楽しかったです。
23	毎年開催してもらいたいです。

6	今後、食の安全と安心の分野で、どのようなテーマのシンポジウムを希望されますか？
2	放射性物質による出荷制限の解除のプロセスをわかりやすく説明してほしい。
3	GMをぜひお願いします。進行中の案件と言えますから。
5	毎回のテーマ とても満足しています。
7	地域や団体のテーマを絞ったリスコミ事例紹介と討論はいかがでしょうか？専門家だけでなく、現場の話を知りたいです。
10	HACCP義務化、食品企業の品質保証・品質管理を行う人の教育について
13	例えば「(6次化・起業支援より)食品加工事業への新規参入が増えている」状況にありますが、新規参入時に「注意すること」について
23	食品会社での具体的取り組み、事例の紹介 将来のあるべき姿についての論議

7	消費者の食の安心につながるリスコミのために、いま何が必要でしょうか。
2	的確なわかりやすい情報発信
5	ワイドショーで「食の専門家」として紹介されている方は、どの程度のキャリアの方が語っているのでしょうか？マスコミは消費者をあおって視聴率を上げるのではなく、正しい情報を地道に根気よく発信してほしいです。
7	積み重ねと発信側の経験の蓄積も大事では？
10	不安をあおった誤った報道の規制
12	情報開示の重要性
13	HACCPの話が出たので 干物・漬物(浅漬けではない)と”生食”については「焼く」「調理時の取扱い」などの重要性をどうやって伝えるか？(ヘンなかんぐりを発生させないために)
14	マスメディアが正しく伝える。
15	情報公開及び拡散しかないとします。(中国産食品は現在はそれほど危なくはない！)
19	世の中の景気がよくなれば(プラス格差の縮小)個人の小さな不満も減るし、意図的混入も減るのでは？消費者が不満を言えば、食品業界も負担が増えて、結局業界全体の収入が減ってしまうような気がする。
21	消費者ではない”批評家” ”マスコミ”とのコミュニケーションのありようも考えていく必要あり
23	行政や企業からも独立した第三者機関の設立？ 中高生への教育・セミナー開催？